



美しい多摩川 フォーラム

多摩川をシンボルに、みんなで
美しい多摩づくりを!

美しい多摩川
100年プラン

環境

経済

教育文化



美しい多摩川フォーラムとは

美しい多摩川フォーラムは、悠久の母なる川として地域で最も共感が得られる「多摩川」というコモンズ(共有資源)をシンボルに掲げ、多摩川水系の流域周辺地域の各主体とイコール・パートナーとして連携・協働しながら、「美しい多摩づくり運動」を経済・環境・教育文化の3つの観点から展開しています。

美しい多摩づくり運動の進め方



運動の3本柱

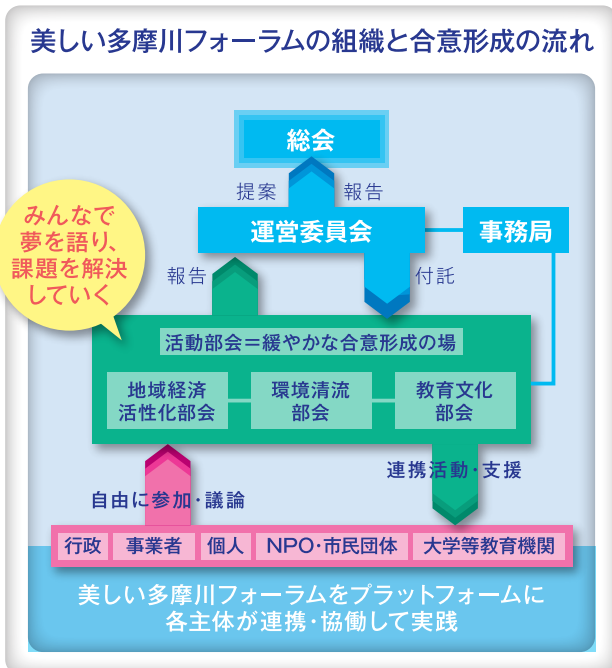
環境

経済

教育文化

私たちは、進化・発展する基本計画「美しい多摩川100年プラン」のもと、**環境、経済、教育文化**を運動の3本柱に据え、**水環境**を守りながら、**地域経済**の活性化に取り組み、そして、次代を担う子どもたちへの**教育**を通じて、地域の人々(多摩圏民)が生きがいを持って、自立した生活が送れるよう、「持続可能な地域社会」の実現に貢献します。

美しい多摩川フォーラムの組織と合意形成の流れ



個人の役割

身近な水環境の現状を認識・理解するとともに、環境に負荷をかけないように、身の回りの問題から環境保全活動に取り組みます。また、次代を担う子どもたちが、自然の中で遊びながら、地域環境や生命の大切さを学び、地域に対する愛着や誇りを育てていきます。こうした取り組みを通じて、ゆたかな暮らしが実現するよう、行政や事業者等と連携・協働して、活気のあるまちづくりに取り組みます。

事業者の役割

地域で事業を営む企業・事業者は、事業を通じて地域社会に貢献するとともに、その事業活動が環境資源に負荷をかけていることを認識し、いかに地域と共生していくかを考え、企業の社会的責任(CSR)を果たしていきます。特に、環境保全活動や地域づくり活動等に参加し、協力します。

行政の役割

まちの活性化(まちづくり)、環境の保全・創造、教育文化の向上など、複雑・多様化する地域の課題に適切に対応するため、広域的な自治体等との連携・協働活動を通じて、「美しい多摩づくり運動」に参加し、協力します。特に、情報共有を促進し、行政のホームページや広報誌を通じて市民への広報・啓発に努めるほか、広く地域において、研究や学びの場を提供します。

ごあいさつ

東歌に詠まれた万葉の時代の「多摩川」、谷川俊太郎さんが作詞した平成の時代の「多摩川」。そこで謳われる共通点は、「ほとぼしり、止まぬ生命力」なのです。美しい多摩川フォーラムは「人々の心、ゆるく結んで」活動を続け、その「ほとぼしり、止まぬ生命力」で第2ステージを迎えようとしています。多摩川流域400万人の人々と、魅力的な地域づくりを楽しみながら実践しようという「美しい多摩川100年プラン」

は、気長で大胆な計画だと思われるでしょう。でも、人生100年時代がそろそろ到来しつつあります。このフォーラムが実践する活動に参加する若い子どもたちは「未来からの留学生」なのです。現代に留学している彼らが、未来に引き継ぐべきこと、捨て去るべきことを巧みにより分け、次の「美しい多摩川100年プラン」を作っていく。そんな将来に思いを馳せながら、第2ステージを迎えませんか。



会長
細野 助博